

SUSHIRO
GLOBAL HOLDINGS

株式会社スシローグローバルホールディングス

証券コード：3563

うまいすしを、腹一杯。
うまいすしで、心も一杯。



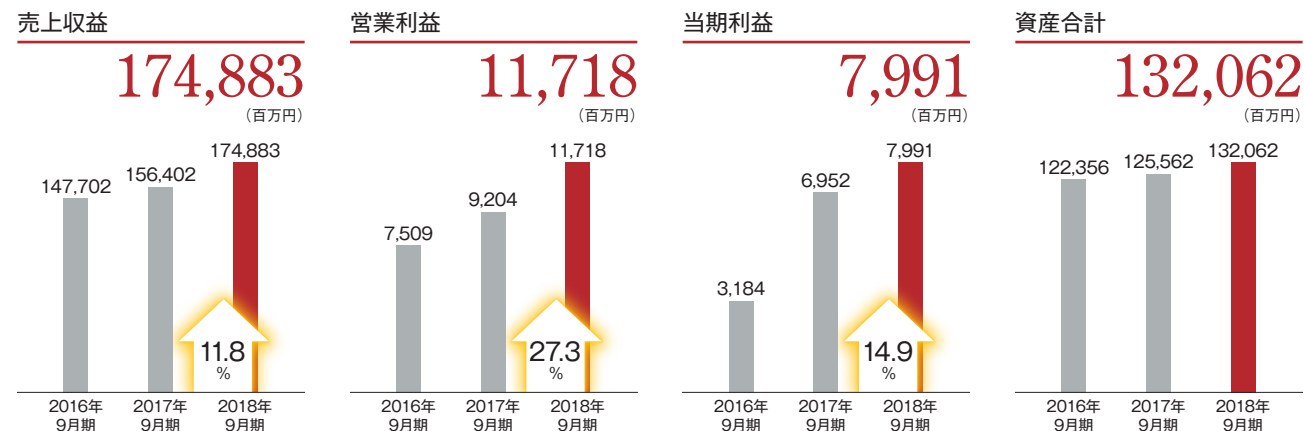
JAPAN
KOREA
TAIWAN

2018年9月期
第4期株主通信

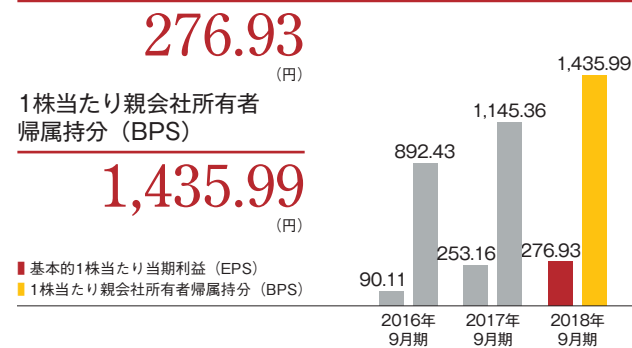
2017年10月1日から2018年9月30日まで

～主な取り組みと成果～

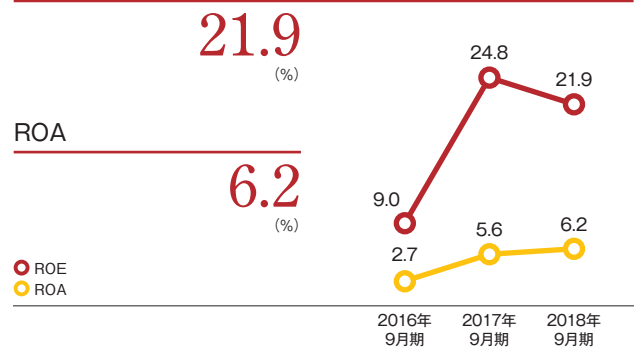
- ▶ 前期に続き、売上収益、営業利益、当期利益全てにおいて過去最高益を更新！
- ▶ 新たに41店舗(国内36店舗、海外5店舗)出店し、525店舗(国内513店舗、海外12店舗)に到達！
- ▶ 厳格なコスト管理のもと、利益成長率はコスト高の環境下でも30%弱に到達！



基本的1株当たり当期利益 (EPS)



ROE



※1 2016年9月期より、国際会計基準(以下:IFRS)に基づいて連結財務諸表を作成しております。
 ※2 当社は、2016年12月22日付で普通株式590株を1株にする株式併合を実施しております。基本的1株当たり当期利益及び1株当たり親会社所有者帰属持分については、2016年9月期の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、当該株式併合後の発行済株式数により算定しております。
 ※3 当期利益は、親会社の所有者に帰属する当期利益を表しています。
 ※4 ROE = 親会社の所有者に帰属する当期利益 / 期中平均親会社の所有者に帰属する持分
 ※5 ROA = 当期利益 / 期中平均資産合計



～ごあいさつ～

本年、地震や豪雨などにより被災された皆様ならびにご家族の皆様へ、心よりお見舞い申し上げます。皆様の安全と被災地の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

当社グループは、大阪市阿倍野区にあった「鯛すし」を起源として、“うまいすしをより多くのお客様に気軽に食べていただきたい”という想いから、1984年に現在の回転すし『スシロー』事業を創業しました。創業当時からグループ全体に継承されている「うまいすしを、腹一杯。うまいすしで、心も一杯。」という想いこそが、これまでもこれからも変わらぬ当社の使命であると考えています。

2018年9月期の国内事業では、お客様にとって新鮮で魅力ある商品提供やアプリの利便性強化等のデジタル施策強化を推進し、回転すし業界売上No.1の地位を確実なものいたしました。さらには新業態の大衆寿司居酒屋「杉玉」が拡大フェーズに入るなど、すし周辺市場の開拓も好調で

す。海外事業では、韓国での店舗網強化に加え、新たに台湾進出も実現し、本格的なグローバル展開への基盤を構築することができました。その結果、売上高、各利益ともに創業来最高を更新し、次年度を最終年度とした現中期経営計画の目標を上回る業績を達成することができました。

この結果を踏まえ、当社グループは、売上1兆円のグローバルなすし・和食の総合外食グループへと飛躍を目指す新たな中期経営計画を発表させていただきました。地球環境や地域社会との関わりを大切に、グループ社員一丸となり国内外で独自の店舗モデルを模索しながら、これからも引き続き企業理念の実現を目指してまいります。

2018年12月

株式会社スシローグローバルホールディングス 代表取締役社長CEO 水留 浩一

～新たなステージに向けて新・中期経営計画、始動～

当社グループの経営成績と新・中期経営計画などについて水留社長に聞きました。

Q.1 当期の成績と取り組みについてお話しください。

2018年9月期の当社グループの状況につきましては、出店計画も順調に進み、経営成績としての売上及び利益の面で期初の予想を大幅に上回る結果を残すことができました。台湾への新規出店や新業態である大衆寿司居酒屋「杉玉」への挑戦でも満足な結果を残すことができました。



Q.2 新・中期経営計画（FY19-21：2019年9月期～2021年9月期）についてお話しください。

当期は中期経営計画の3年目というタイミングでしたが、2年目が終了した時点で当初の目標を達成することができました。また、現在進めているような海外展開や新業態について数字面で触れていないところもありました。今後は海外展開や新業態への挑戦にも積極的に投資をしていく必要がありますので、向こう3年間をしっかりと見据えて、株主・投資家の皆様とこの計画を基にコミュニケーションをしていきたいという思いがあります。

今後の計画については、海外展開や新業態といったところばかりに注目が集まりがちですが、“すし”というマーケットで見ると日本国内だけで1兆5,000億円規模の市場があるといわれています。当社グループはそのうちの10%程度

新・中期経営計画（FY19-21）戦略骨子

1 国内スシロー業態は拡大を継続
⇒ 引き続き30店～/年を出店

2 新業態ですし周辺市場も開拓
⇒ 「杉玉」はFCも活用し積極拡大
⇒ 他業態の開発にもチャレンジ

3 海外展開を本格化
⇒ 5カ国以上へ展開
⇒ 海外売上高200億円、
海外店舗比率10%超へ

連結売上高

2,400億円

連結当期利益

100億円

成長率

売上・利益とも
年10%超

注：スシロー業態は3つのスシローモデル（スシロー通常型、スシロー都心型、スシローコノミ）を含む。

のシェアですので、こちらも限界を感じるようなところではないと思っています。国内の「スシロー」業態も引き続き年間30店舗の出店を継続しつつ、絶対的No.1を目指したいと考えています。

国内における新業態である大衆寿司居酒屋「杉玉」については、1号店の兵庫県・西宮北口店の好調を受け、当期3店舗をオープンいたしました。今後も収益力の高いビジネスモデルとして、管理体制の強化・収益性の改善にも取り組みつつ、さらなる多店舗化やフランチャイズの活用を進めてまいります。

海外展開については、当期末で韓国10店舗出店、台湾2店舗出店と拡大への基盤を構築したと考えています。今後は東南アジアやさらには北米など、市場規模や成長性も見込める地域を中心に出店を進めてまいります。投資額は新・中期経営計画の3年間でおよそ100億円を見込んでおり、海外店舗は国内・国外全ての店舗比率で10%超まで伸ばしていきたいと考えています。

3年後には世界に向けて、実績を伴って「スシロー」というブランドが浸透していく姿と、新業態を大きく育てる力があることを見ていただけていると思っています。そして、新・中期経営計画の最終的な展望として「スシロー」を日本発のグローバル外食ブランドとして、回転すしから関連市場までをカバーする売上1兆円のグローバルなすし・和食の総合外食グループを目指してまいります。



Q.3 株主・投資家の皆様へのメッセージをどうぞ。

今後も更に健全な経営を行ってまいります。事業自体の健全性はもちろん、財務も含めて、真っ正直な経営を行った上で、収益性をしっかり確保しながら、より成長に向けた投資を行ってまいります。

2018年9月期通期の配当につきましては、当期が上場して初めて1年の通期ということで、当初お約束させていただいた85円の配当（前期45円）を予定しております。

これからも安定配当と成長投資のバランスをとりながら、中・長期的に企業価値を向上させてまいります。今後とも当社グループにご期待ください。



～競争力の源泉と店舗展開戦略の状況～

1984年に大阪阿倍野にあった「鯛すし」を原点に持つ当社グループは、創業当時から語り継がれる「うまいすしを、腹一杯。うまいすしで、心も一杯。」という想いをもとに「仕入れ」「店内調理」「ITシステム」の3つの強みを発揮して、当社グループの美味しいすしをこれまで以上に広く多様なサービスでお届けし、より多くの皆さまに「うまいすしを、腹一杯。うまいすしで、心も一杯。」を実感いただけるよう挑戦を続けてまいります。

スシローの強み

その1

仕入れ

食材調達

- ・コストをかけ、より良い食材を使用
- ・規模を活かした価格交渉力
- ・鮮魚仕入れのノウハウ・スキル
- ・供給業者との直接取引関係



スシローの強み

その2

店内調理

セントラルキッチンを経由しない店内調理

- ・研鑽を積んだ従業員（パートタイマー及びアルバイトを含む。）が店内調理を担当
- ・体系化された研修制度や従業員の定着により、店内調理ノウハウを蓄積



スシローの強み

その3

ITシステム

接客・サービスに寄与する効率的な店舗運営

- ・ICチップ内蔵の皿を用いたビッグデータ分析
- ・ITシステムを活用した効率的な店舗運営
- ・タッチパネル注文システムにより、注文を受けてから出来立てのすしを提供



出店を伸ばす韓国で8店舗目となる「スシローCOEX店」

国内店舗数 (2018年9月30日現在)

513店

回転すし業界初500店舗を達成

2018年9月期は36店舗（スシロー通常型、スシロー都心型、スシローコノミ、杉玉）がオープンしました。東日本の出店が強化され回転すし業界としては初の国内500店舗突破を達成しました。



500店舗目としてオープンした「スシロー須賀川店」

海外店舗数

(2018年9月30日現在)

12店

2018年9月期における海外の店舗開発につきましては、5店舗出店したことにより12店舗を展開しております。海外戦略として海外2カ国目となる台湾にもオープンし、売上は堅調に推移しております。引き続き世界にも「うまいすし」をお届けできる開発を進めてまいります。



6月にオープンした台湾1号店となる「スシロー台北館前路店」。9月には2号店の「スシロー台北中華路店」も出店

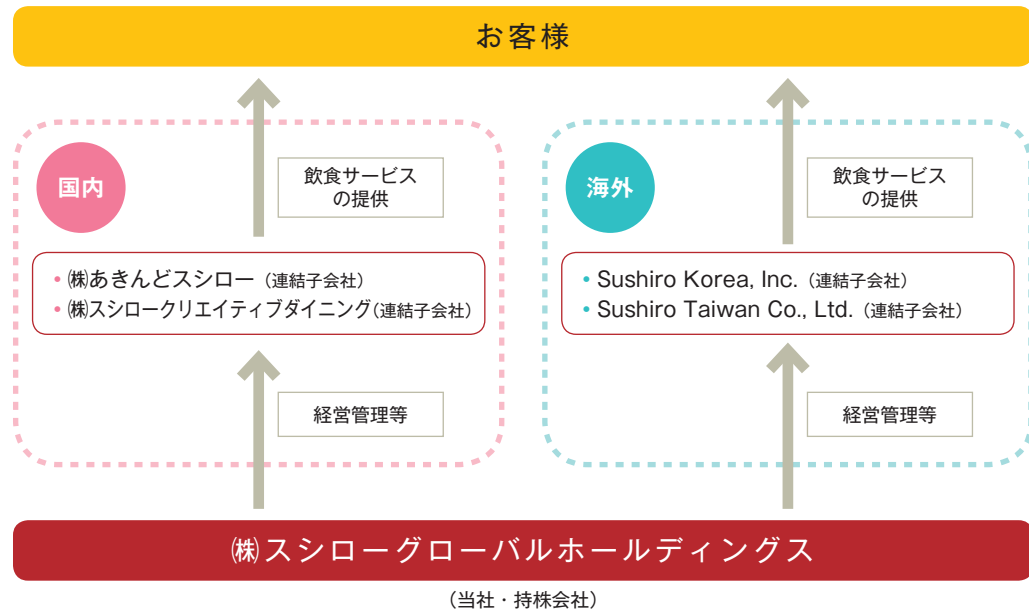


事業内容

当社グループは、当社及び連結子会社5社で構成されており、直営方式による回転すし店のチェーン展開を主たる事業としています。

国内では『スシロー』ブランドにて直営方式による回転すし店を中心に展開し、海外では韓国と台湾で直営方式による回転すし店を展開しています。

当社グループの事業の系統図は以下のとおりです。



外食業界においては、原材料価格の上昇や人手不足によるコスト増加に加え、相次ぐ自然災害や天候不順による影響など、引き続き厳しい経営環境で推移しました。

このような状況の中、当社グループでは、「うまいすしを、腹一杯。うまいすしで、心も一杯。」を使命として、美味しいすしを通じてより多くの皆様に驚きと感動を感じていただきたいという願いに向けて、商品開発、店内調理、安心・安全の取り組み及びサービスの向上に努めてまいりました。

店舗開発につきましては、41店舗出店(国内36店舗、海外5店舗)したことにより、当連結会計年度末の店舗数は、国内513店舗、海外12店舗の合計525店舗となりました。

以上の結果、当連結会計年度の業績は、売上収益174,883百万円(前連結会計年度比11.8%増)、営業利益11,718百万円(前連結会計年度比27.3%増)、税引前利益11,508百万円(前連結会計年度比27.9%増)、親会社の所有者に帰属する当期利益7,991百万円(前連結会計年度比14.9%増)となりました。

2018年9月期
営業概況

連結財務諸表 (要旨)

		第2期 2015年10月1日～ 2016年9月30日	第3期 2016年10月1日～ 2017年9月30日	第4期 2017年10月1日～ 2018年9月30日
売上収益	(百万円)	147,702	156,402	174,883
営業利益	(百万円)	7,509	9,204	11,718
税引前利益	(百万円)	4,692	8,995	11,508
親会社の所有者に帰属する当期利益	(百万円)	3,184	6,952	7,991
親会社の所有者に帰属する当期包括利益	(百万円)	3,248	6,951	7,979
親会社の所有者に帰属する持分	(百万円)	24,922	31,853	40,835
資産合計	(百万円)	122,356	125,562	132,062
1株当たり親会社所有者帰属持分	(円)	892.43	1,145.36	1,435.99
基本的1株当たり当期利益	(円)	90.11	253.16	276.93
希薄化後1株当たり当期利益	(円)	85.86	247.09	273.54
親会社所有者帰属持分比率	(%)	20.0	25.0	31.5
親会社所有者帰属持分当期利益率	(%)	9.0	24.8	21.9
営業活動によるキャッシュ・フロー	(百万円)	15,215	11,574	14,744
投資活動によるキャッシュ・フロー	(百万円)	△4,581	△5,533	△6,398
財務活動によるキャッシュ・フロー	(百万円)	△5,854	△5,663	△4,516
現金及び現金同等物の期末残高	(百万円)	8,149	8,538	12,386

POINT

商品開発、店内調理、安心・安全の取り組み及びサービスの向上に努めるとともに、新たに国内36店舗、海外5店舗の出店により、増収増益となりました。

POINT

総資産の残高は、前連結会計年度末に比べ6,501百万円増加し、132,062百万円となりました。流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べ4,553百万円増加し、16,528百万円となりました。非流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べ1,947百万円増加し、115,534百万円となりました。これは主に、新規出店等により有形固定資産が1,426百万円、敷金及び保証金が336百万円それぞれ増加したこと等によるものです。

POINT

営業活動の結果獲得した資金は、14,744百万円(前連結会計年度比27.4%増)となりました。これは主に、税引前利益11,508百万円、減価償却費及び償却費4,425百万円、減損損失461百万円の計上、営業債務及びその他の債務の増加が1,666百万円あった一方で、営業債権及びその他の債権の増加が415百万円、棚卸資産の増加が173百万円、利息の支払額が176百万円、法人所得税の支払額が4,429百万円あったこと等によるものです。

投資活動の結果使用した資金は、6,398百万円(前連結会計年度比15.6%増)となりました。

これは主に、新規出店等に伴う有形固定資産の取得による支出が5,464百万円、敷金及び保証金の差し入れによる支出が632百万円あったこと等によるものです。

財務活動の結果使用した資金は、4,516百万円(前連結会計年度比20.3%減)となりました。

これは主に、新株予約権の行使による収入が3,287百万円あった一方で、長期借入金の返済による支出が4,168百万円、リース債務の返済による支出が1,205百万円、新株予約権の取得による支出が1,006百万円、配当金の支払額が1,229百万円あったこと等によるものです。

Topics

ゴー!ゴー!キッズ プロジェクト 「スシローと一緒に海を体験するツアー」開催

当社では、「うまいすしを、つなぐ。」を合言葉に、おすしを通じて子どもたちに「食」の大切さを伝えることと、食材の仕入れなどスシローの「安心・安全」へのこだわりや取り組みを知っていただくことを目的として、「ゴー!ゴー!キッズ プロジェクト」を実施しています。

今回初めて開催する「ゴー!ゴー!キッズ プロジェクト スシローと一緒に海を体験するツアー」は、「調理体験教室」「スシロー^{まい}米田植え・稲刈り体験ツアー」に続く体験型のイベントです。三重県内から30名のご家族をお招きし、尾鷲物産株式会社様のご協力のもと、魚市場の散策や、工場見学、巻きすし体験を実施しました。

当社はこれからも「地域に喜ばれるお店づくり」を目指し、企業として地域や社会に貢献できる活動を続けてまいります。



台湾進出第1号店 「スシロー台北館前路店」オープン

当社は、海外進出2カ国目として、韓国に次いで台湾に出店いたしました。旗艦店となる「スシロー台北館前路店」(台北市中正区)は、台北駅からアクセスのよいエリアで、日本で人気のメニュー約130種を提供するとともに、現地の高品質な食材を使用したメニューをご用意しています。

また、設備面でも「回転すし総合管理システム」や、オーダー専用レーン「Auto Waiter (オートウェイター)」、スシロー台湾公式スマートフォンアプリ「寿司郎 APP」など、最新のテクノロジーを駆使したシステムも導入しています。



台湾1号店オープンセレモニーの様子

これからも日本の代表的な食文化の一つであるすしを通じて、世界のより多くのお客様に喜びと感動をお届けしてまいります。

「世界の海から いいネタPROJECT」

「世界の海からいいネタPROJECT」とは、世界中にある極上の食材を掘り起こし、素材の品質にとことんこだわるスシローが胸を張って良いネタといえる自慢の逸品をご提供するプロジェクトです。定番の100円ネタに加えて、世界中のお値打ちネタを150円、さらにこだわり抜いた贅沢なネタを300円でご用意しています。

スシローならではの目利き・調達力があって初めて実現する幅広い食材ばかりです。期間限定・数量限定のメニューもありますので、お見かけの際は機会を逃さずお近くの店舗でぜひご賞味ください。



ポートエリザベス沖ほか
バチとろ鮪



北極イワナの焼霜



マダガスカル生えび

※ご紹介のメニューはすでに販売終了しているものもございます。予めご承知おきください。

会社概要

(2018年9月30日現在)

社名	株式会社 スシローグローバルホールディングス Sushiro Global Holdings Ltd.
設立	2015年3月
所在地	大阪府吹田市江坂町一丁目22番2号
資本金	1億円
従業員数	1,632名【社員】(連結)
主要取引銀行	株式会社三井住友銀行 株式会社三菱UFJ銀行 株式会社みずほ銀行
事業内容	すしレストランの経営
グループ事業会社	株式会社 あきんどスシロー 株式会社 スシロークリエイティブダイニング Sushiro Korea, Inc. Sushiro Taiwan Co., Ltd.

役員

(2018年12月20日現在)

代表取締役社長	水留 浩一
取締役常務執行役員 総務・人事・品質管理管掌	木下 嘉人
取締役執行役員 仕入・商品企画管掌	堀江 陽
取締役執行役員	新居 耕平
取締役	藤尾 益雄
取締役	安島 一史
取締役	松本 晃
取締役	近藤 章
取締役(監査等委員)	納塚 善宏
取締役(監査等委員)	豊崎 賢一
取締役(監査等委員)	市毛 由美子

※取締役松本晃、近藤章、納塚善宏及び市毛由美子は社外取締役です。

株式情報

(2018年9月30日現在)

発行可能株式総数	109,000,000株
発行済株式の総数	29,012,496株
株主数	25,805名

大株主

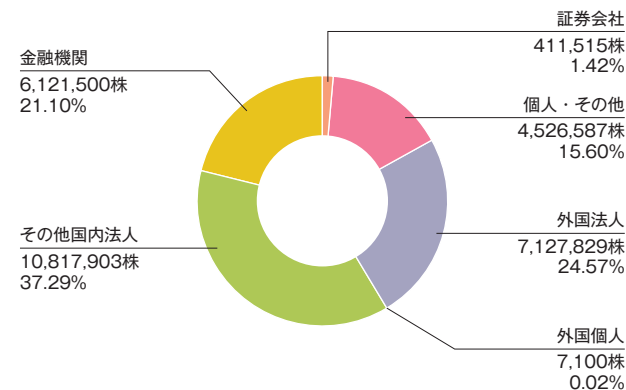
(上位5名：2018年9月30日現在)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
株式会社神明	9,493	32.72
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,532	5.28
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,450	4.99
全国農業協同組合連合会	1,111	3.82
HSBC-FUND SERVICES CLIENTS A/C 500 HKMPF 10PCT POOL	453	1.56

※持株比率は自己株式(62株)を控除して計算しております。
※株式会社神明は、2018年10月1日付で商号を株式会社神明ホールディングスに変更しております。

株式の状況

(2018年9月30日現在)



株主優待

半期に一度、株主の皆様には株式会社あきんどスシローが運営する全国のスシロー店舗でご利用いただける優待割引券を贈呈いたします。

対象株主	毎年9月30日（年度末）及び3月31日（中間期末）現在の株主名簿に記載された1単元（100株）以上の株式を保有される株主様を対象といたします。
保有株式数	優待内容
100株～199株	株主優待割引券 年間 4,000円 分（2,000円×2） 贈呈金額 2,000円（9月末日基準日）、2,000円（3月末日基準日）
200株～499株	株主優待割引券 年間 8,000円 分（4,000円×2） 贈呈金額 4,000円（9月末日基準日）、4,000円（3月末日基準日）
500株～	株主優待割引券 年間 20,000円 分（10,000円×2） 贈呈金額 10,000円（9月末日基準日）、10,000円（3月末日基準日）



ご利用上の留意点

- 株式会社あきんどスシローの運営する全国のスシロー店舗でご利用いただけます。
- 会計金額1,000円毎に500円の優待割引券のご利用が可能です。
- 贈呈金額2,000円毎に500円の平日限定割引券が含まれます。
（2,000円の場合：1,500円分は全日利用可能、500円分は平日限定で利用可能・4,000円の場合：3,000円分は全日利用可能、1,000円分は平日限定で利用可能・10,000円の場合：7,500円分は全日利用可能、2,500円分は平日限定で利用可能）
- 他の割引券との併用可能です。
- 有効期限の超過した優待割引券はご利用いただけません。
- 現金との引き換えはできません。

株主メモ

事業年度	毎年10月1日から翌年9月30日まで
定時株主総会	毎事業年度末日の翌日から3ヵ月以内
基準日	9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 （電話照会先）	東京都杉並区和泉二丁目8番4号（〒168-0063） 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031（フリーダイヤル）
公告方法	電子公告にて当社のホームページ（ https://www.sushiroglobalholdings.com/financial ）に掲載いたします。ただし、やむをえない理由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

スシローアプリ好評配信中
今すぐダウンロード

iPhone版はこちら▶



Android版はこちら▶



- ※アプリダウンロード後、会員登録をいただくことでご利用いただけます。
- ※スマートフォンのみのご利用となります。（PC・スマートフォン以外の携帯端末の方はご利用できません）
- ※iOSバージョン9.3以上、Android OSバージョン4.4以上搭載の端末でのご利用を推奨いたします。（一部端末では正しく動作しない場合がございます）
- ※スマートフォン以外の機器は、動作保証外です。

